

2022年度 事業報告書

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 事業活動概要

コロナ禍が継続し、引き続き事業実施に慎重を期する1年となりました。神奈川子ども未来ファンドでは、オンラインによる配信や会議といった非対面の手法を取り入れるなど感染防止を図った上、子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組みました。

学校現場においては、オンラインでの授業や制約を受けた行事もありましたが、感染防止に努めながら、徐々に日常を取り戻していった1年となりました。しかし、コロナ禍が長く続く間に子どもたちをめぐる状況は大きく変わりました。

2021年度の神奈川県内の公立小中学校・高校・特別支援学校のいじめ認知件数は、3万835件(前年度比7,774件増)と過去最多を更新しました。2022年に自ら命を絶った全国の児童生徒数は、統計がある昭和55年以降初の500人超となり過去最高を更新しました。そして、コロナ禍の社会不安が偏見や差別、いじめの助長につながっているのではないかと、コロナ禍での孤立感が深刻な影響を与えているのではないかとこの危惧が広がりました。このような憂慮すべき状況は、今後十分注視していく必要があります。

こうした中、神奈川子ども未来ファンドは、通常の助成事業のほか、「一般財団法人日本民間公益活動連携機構」が実施する休眠預金等活用法に基づく2022年度通常枠の資金分配団体に応募し採択されたことを受け、実行団体の公募と審査選考を行い、5団体を内定しました。

また、「こどものみらい応援ネット」や「つなぐ支える相談窓口」の運用を通じて、活動団体と企業・団体等の橋渡しを進めたほか、新たに、神奈川県福祉こどもみらい局福祉部生活援護課が実施する「生活困窮者等若者巣立ち応援事業」の補助事業者に応募し採択されたことを受け、同事業の事務局業務を担いました。

さらには、コロナ禍だからこそ「ともにある」「見守っている」とのエールを子どもたちに送るべく、ピンクシャツデーキャンペーンを推進し、協賛企業や後援団体も増えるなど、その取り組みは県下に広がりつつあります。

2022年度はコロナ禍により中止した事業もありましたが、様々工夫しながら以下の活動を行いました。

2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

① NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

(ア) ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用によるマッチングの推進

- ・内 容 子ども支援活動団体の情報、団体の活動を支える企業等の情報、子ども支援に関する情報を集約した上記サイトを運用し、活動団体と企業等のマッチングに取り組んだ。その結果、ポータルサイトの閲覧からコーディネート相談につながるなど利用が進み、企業等からの支援を活動団体に橋渡しすることができた。

閲覧可能団体数 354団体(サポーター含む)

- ・実施時期 通年
- ・場 所 神奈川子ども未来ファンド事務局(以下、「事務局」という。)ほか
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人、その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 585,353円

(イ) つなぐ・支える相談窓口の運用によるコーディネート推進

- ・内 容 ホームページ上に開設している「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターの申出とのコーディネートを行った。
コーディネート窓口の運用実績は着実に広がっており、ポータルサイトを検索した大手企業等からの問い合わせ等につながるなど、ポータルサイトと相談窓口の二つが相乗的に機能し、成果をあげている。
相談件数：27 件（成立 23 件 不成立 3 件 継続 1 件）
※「こどものみらい応援ネット」分含む

- ・実施時期 通年
- ・場 所 事務局及び神奈川県内
- ・従事者人員 3 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人、その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 334,487 円

② 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内 容

【会員の募集】

	2022 年度実績	前年度実績
正会員	62 名 (52 口)	61 名 (53 口)
準会員	14 名 (14 口)	18 名 (20 口)
子ども応援会員	10 名 (15.6 口)	10 名 (13 口)
法人会員	24 社 (27.3 口)	21 社 (25.6 口)

【寄付の募集】

	2022 年度実績	前年度実績
一般寄付金 ※	4,568,502 円	6,004,432 円
運営基盤を支える寄付金	120,000 円	80,811 円

※ピンクシャツデー協賛を含む

- ・実施時期 通年
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 15 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 347,364 円

(イ) 音楽イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等の音楽イベントに出展し、募金活動や子ども支援活動団体を紹介するパネル展示等を行った。
- ・実施時期 2022 年 5 月 7 日(土)
- イベント名 ヨコハマアコースティックフェスティバル vol.12 (大さん橋ホール)
- 及び場所 2022 年 8 月 22 日(月)
澤田知可子コンサートこの星の歩き方 in 小田原
(小田原城三の丸ホール)
- 2022 年 10 月 23 日(日)
ホッチポッチミュージックフェスティバル (横浜公園)
- 2023 年 1 月 9 日(月)
N.U. ホールコンサート (鎌倉芸術館)
- 2023 年 2 月 11 日(土)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会
(横浜みなとみらいホール)

- ・従事者人員 10 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 386,608 円

(ウ) 各種イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 tvk かながわ MIRAI ストリート等に出展し、チャリティーバザーや募金活動、子ども支援活動団体を紹介するパネル展示、ピンクシャツデーオリジナルグッズ販売等を行った。
- ・実施時期 2022 年 5 月 28 日(土)・29 日(日)
- イベント名 tvk かながわ MIRAI ストリート (日本大通り)
- 及び場所 2022 年 10 月 2 日(日)
モトスミ・ブレーメン通り商店街フライマルクト (川崎市元住吉)
- ・従事者人員 10 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 294,328 円

(2) 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

① 助成事業

(ア) 2022 年度助成

- ・内 容 「一般助成」及び「課題助成」合わせて総額 120 万円(1 団体上限 30 万円)で 2021 年度に募集し、助成選考委員会の審査選考を経て決定した 7 団体へ総額 1,193,300 円の助成を行った。

(2022年度助成選考委員会)

委員長 高見澤尚弘氏 株式会社高尚代表取締役社長
 委 員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
 委 員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
 委 員 藤枝 香織氏 一般社団法人ソーシャルコーディネートかな
 がわ 理事・事務局長
 委 員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員

- ・実施時期 5 月
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 10 名(事務局 2 名 理事 3 名 選考委員 5 名)
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 1,248,259 円

【2022 年度助成対象団体一覧】 助成総額 1,193,300 円

<一般助成>

	団体名	事業名 <活動領域>	所在地	助成金額
1	生き×居きコミュニティ	<就労支援事業> 就労の悩み・モヤモヤ座談会	横浜市	83,300 円
2	NPO 法人ここだね	<学習支援事業> 無料相談・無料学習支援事業	逗子市	200,000 円

3	NPO 法人街の家族	<乳幼児親子支事業> 街の家族子育て応援プロジェクト ステージ3 乳幼児一時預かり保育事業	横浜市	180,000 円
4	常設子育てサロン ちっちゃなて	<乳幼児親子支援事業> 子育てサロンの運営	秦野市	200,000 円
5	NPO 法人 こどもの広場もみの木	<居場所づくり事業> 「こどもの広場」を核にした地域における 子育てを支え合うピアサポートコミュニティづくり	座間市	200,000 円
			合 計	863,300 円

<課題助成>

	団体名	事業名 <活動領域>	所在地	助成金額
1	NPO 法人 BONDプロジェクト	<女性支援事業> b o n d P r o j e c t @ かながわ - 1 0 代 2 0 代の女の子のための相談室	横浜市	200,000 円
2	NPO 法人 ワーカーズ・コレクティブ チャイルドケア	<乳幼児親子支援事業> 家庭訪問型子育て支援ホームスタート	大和市	130,000 円
			合計	330,000 円

(イ) 2023 年度助成

- ・内 容 2023年度助成対象団体の募集
「一般助成」及び「課題助成」（いじめ・貧困・児童虐待）を、助成総額150万円（1 団体あたり上限30万円）で募集した。
- ・実施時期 2022 年 11 月 1 日（火）～2023 年 1 月 25 日（水）
- ・従事者人員 10 名（事務局 2 名 理事 3 名 選考委員 5 名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 181,158 円

(ウ) 2021 年度助成団体報告会・2022 年度助成団体交流会

- ・内 容 2021 年度助成団体と 2022 年度助成団体のオンライン交流会を実施し、助成事業の実施報告及び中間報告を行い、団体間の交流を図った。
- ・実施時期 2022 年 10 月 4 日（火）
- ・場 所 オンライン
- ・従事者人員 5 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人、その支援に関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 63,323 円

② 休眠預金等活用助成「困難を抱え孤立する子ども・若者の社会的自立支援事業」

- ・内 容 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「2022 年度通常枠第 1 回」に資金分配団体として応募し採択されたことを受け、標記助成に係る県内実行団体を公募のうえ選考し、5 団体を内定した。年度末までかけて、2023 年度事業開始に向け、事業計画の見直しなど資金提供契約締結の準備を行った。
- ・募集期間 2022 年 12 月 12 日（月）～2023 年 1 月 22 日（日）
- ・助成金額 2023 年度：20,000,000 円（事業費助成総額：50,000,000 円 [3 年間]）
※評価関連経費を別途助成

- ・助成期間 2023年4月（資金提供契約締結後）～2026年2月
- ・審査委員会 2023年2月21日（火）
 <審査委員会>
 委員長 臼井 正樹氏 神奈川県立保健福祉大学名誉教授
 委員 田口 努氏 公益財団法人日本YMCA同盟主事
 委員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会 弁護士
 委員 西川 正氏 特定非営利活動法人ハンズオン埼玉理事
 委員 根本 真紀氏 社会福祉士
 委員 山岡 義卓氏 神奈川大学経営学部特任教
- ・従事者人員 10名（事務局2名 理事2名 審査委員会委員6名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 1,946,675円

③ 生活困窮者等若者巣立ち応援事業（つばさプロジェクト）

- ・内 容 神奈川県福祉こどもみらい局福祉部生活援護課が実施する「生活困窮者等若者巣立ち応援事業」の補助事業者の公募に応募し採択されたことを受け、同事業の事務局業務を担った。また、県内自治体担当者および外部有識者等により構成される「かながわ子ども・若者未来応援ネットワーク会議」の事務局業務を担当し、同会議の運営を行った。
- ・実施期間 2022年12月7日（月）～2023年3月31日（金）
- ・助成金額 6,293,030円
- ・助成期間 2022年11月7日（月）～2023年3月31日（金）
- ・対象団体 県内自治体から推薦された団体（初年度試行実施）
- ・従事者人員 4名（事務局2名 理事2名）
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 6,700,596円

【2022年度つばさプロジェクト対象団体一覧】 助成総額 6,293,030円

	団体名	所在地	助成金額
1	特定NPO法人 ブリッジフォースマイル	東京都港区	3,570,000円
2	パーソルテンプスタッフ株式会社	東京都渋谷区	790,000円
3	社会福祉法人 白十字林間学校あすなろサポートステーション	藤沢市	270,000円
4	公益財団法人 よこはまユース	横浜市	119,933円
5	認定NPO法人 フリースペースたまりば	川崎市	633,097円
6	NPO法人 こどもの夢サポートセンター	横須賀市	30,000円
7	NPO法人 子どもと生活文化協会	小田原市	435,000円
8	NPO法人 さくらんぼ	横浜市	140,000円
9	一般社団法人 アマヤドリ	三浦郡葉山町	185,000円
10	NPO法人 アンガージュマン・よこすか	横須賀市	120,000円
			6,293,030円

④ 三菱UFJ信託銀行 藤沢支店「子どもの未来応援基金」

内 容 三菱UFJ信託銀行 藤沢支店より、神奈川子ども未来ファンドを通して鎌倉・藤沢・茅ヶ崎エリアの子ども食堂等を支援するため 50 万円を資金提供したい旨の申し出があった。これを受けて、神奈川県子ども居場所ポータルサイト「かながわスマイルテーブル」の登録団体のうち寄付希望の団体を選定し、助成選考委員の書類選考を経て決定した 8 団体へ総額 400,000 円の助成を行った。

(選考委員による書類選考)

委員長 高見澤尚弘氏 株式会社高尚代表取締役社長
 委 員 奥山千鶴子氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
 委 員 飛弾野 理氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
 委 員 藤枝 香織氏 一般社団法人ソーシャルコーディネイトかな
 がわ 理事・事務局長
 委 員 山口 明 氏 前神奈川県労働委員

- ・実施時期 5月
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 10名(事務局2名 理事3名 選考委員5名)
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 500,322円

【三菱UFJ信託銀行 藤沢支店「子どもの未来応援基金」対象団体一覧】

助成総額 400,000円

	団体名	所在地	助成金額
1	長後子ども食堂	藤沢市	50,000円
2	ゆめちゃん食堂	藤沢市	50,000円
3	子どもカフェ/藤沢フードパントリー	藤沢市	50,000円
4	湘南台 MOP HOME 寺子屋	藤沢市	50,000円
5	ほんそん子ども食堂「いただきます」	茅ヶ崎市	50,000円
6	幸町子ども食堂「おいしいね」	茅ヶ崎市	50,000円
7	なかよし大船子ども食堂	鎌倉市	50,000円
8	Space ぷらっと大船	鎌倉市	50,000円
			400,000円

(3) 前号の助成対象となる団体等(以下、「助成対象団体等」という)に対する技術的支援

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等に関する助言、支援等を行った。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 106,784円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

- ・内 容 助成団体等へ活動状況や子ども・若者等を取り巻く課題についてヒアリングを行った。
- ・実施時期 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 140,233 円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

① 「ピンクシャツデー2023 in 神奈川」の取組み

- ・内 容
 - ・取組みの趣旨に賛同した企業・団体や行政等のメンバーで構成された推進委員会を 2022 年 9 月に立ち上げ、神奈川子ども未来ファンドがその事務局を担い、県内にいじめストップの取組みが更に広がるよう努めた。
 - ・2023 年 2 月のピンクシャツデー月間は、昨年同様、感染拡大防止に配慮しながらの実施となったが、県内各所でライトアップやデジタルサイネージ等の掲示、オリジナルグッズの販売など、多くの協力を得ることができ、新たに取り組む行政や学校、地元の有志等も増えた。
 - ・2 月 22 日は新都市プラザ（横浜駅東口地下 2 階広場）でパネル展示を実施。事前に tvk ニュース番組に出演し告知に努めた。また、商業施設によるプレスリリース等も全国紙に掲載されたほか、学生インターンによる SNS 配信やピンクシャツデー神奈川公式サイトでの取組み事例の紹介により、周知普及を図った。
 - ・これらの結果、県内各地域の企業・団体や行政、学校、NPO 等がいじめストップの取組みが広がり、子ども達が誇りを持ってこの活動に取り組む様子も見られるようになった。
- ・実施時期 2 月（ピンクシャツデー月間）
- ・及び場所 及び場所
- ・取組内容
 - ・パネル展示：2 月 22 日（水）
 - ・新都市プラザ（横浜駅東口地下 2 階広場）
 - ・ライトアップ
 - ・横浜 8 カ所、横須賀 1 カ所、鎌倉 1 カ所、藤沢 2 カ所、茅ヶ崎 1 カ所、小田原 1 カ所
 - ・デジタルサイネージ、ポスター掲出（商業施設、交通機関等）
 - ・オリジナルグッズ販売協力（百貨店等の商業施設）
 - ・スポーツ関連団体の参加
 - ・プロ卓球リーグのチーム、地元少年サッカークラブ等
 - ・県内市町村（イベント、ワークショップ等の開催）
 - ・県内小中高校、PTA、図書館等
 - ・ポスター掲出、チラシ配布、ワークショップ等の開催
 - ・県内小中高校の児童生徒
 - ・授業、校内開催行事や校外活動への積極的参加
- ・場 所 神奈川県内各所、新都市プラザ（横浜駅東口地下 2 階広場）
- ・推進委員会 ピンクシャツデー2023 神奈川推進委員会(2022 年 9 月発足)
- ・代表推進委員 山崎美貴子（神奈川子ども未来ファンド常任理事）
- ・後援、協賛 後援 69 団体、協賛・協力 96 社・団体（個人含む）
- ・従事者人員 20 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支出額 4,720,324 円

② 子どもみらいセミナーの実施

- ・内 容 「貧困・虐待・いじめ」をシリーズタイトルとし、新型コロナ感染拡大防止に配慮してオンライン配信により実施した。

第1回「子どもの貧困」

日 時：2022年11月13日(日)14:00～15:30（有料配信）

配信会場：大川印刷(株) with GREEN PRINTING「社会課題解決型スタジオ」

講 師：重江 良樹 氏（映画監督）

参加申込者数 29 名 アンケート回収 7 通

YouTube 通算視聴回数 54 回

第2回「子どもの声に耳を傾ける～

子どもアドボカシーを知っていますか？」

日 時：2022年1月16日(日)14:00～16:00（有料配信）

配信会場：大川印刷(株) with GREEN PRINTING「社会課題解決型スタジオ」

講 師：大久保 真紀 氏（朝日新聞編集委員）

参加申込者数 26 名 アンケート回収 3 通

YouTube 通算視聴回数 28 回

第3回「SNS トラブル、ネットいじめ、ゲーム依存

～おとなの知らない子どもの世界」

日 時：2023年2月5日(日)14:00～15:30

（ピンクシャツデー事業の一環として実施：無料配信）

配信会場：大川印刷(株) with GREEN PRINTING「社会課題解決型スタジオ」

講 師：石川 結貴 氏（作家/ジャーナリスト）

参加申込 32 名 アンケート回収 3 通、 YouTube 通算視聴回数 102 回

- ・従事者人員 10 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 697,746 円

③ 「バリアフリーフェスタかながわ 2022」への参加

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタかながわ 2022」に出展し、ピンクシャツデーキャンペーンなど多様性を認め合う神奈川をアピールした。
（実行委員会委員長 吉富多美〔神奈川子ども未来ファンド副理事長〕）
- ・実施時期 2022年11月5日(土)
- ・場 所 横浜新都市ビル（そごう横浜店）9階センタープラザ
- ・従事者人員 5 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 88,215 円

④ パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発

- ・内 容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行った。
- ・実施時期 通年
- ・場 所 事務局ほか
- ・従事者人員 5 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
- ・支 出 額 250,866 円

- ⑤ ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の活用による普及啓発
- ・内 容 ポータルサイトを活用して企業等への普及啓発活動を行った。
 - ・実施時期 通年
 - ・場 所 事務局ほか
 - ・従事者人員 5 名
 - ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
 - ・支 出 額 200,692 円
- ⑥ インターネットを活用した普及啓発
- ・内 容 Facebook 等を活用して普及啓発活動を行った。
 - ・実施時期 随時
 - ・場 所 事務局ほか
 - ・従事者人員 3 名
 - ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
 - ・支 出 額 477,311 円
- ⑦ 広報誌の発行による普及啓発
- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行った。
 - ・実施時期 7 月及び 12 月（年 2 回発行） 各回 3,000 部発行
 - ・場 所 事務局ほか
 - ・従事者人員 5 名
 - ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
 - ・支 出 額 490,581 円
- ⑧ メディア等を通じた広報宣伝
- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかけた。
 - ・実施時期 随時
 - ・場 所 事務局ほか
 - ・従事者人員 5 名
 - ・受益対象者 子ども・若者・子育てをする人及びその支援に関わる人
 - ・支 出 額 297,191 円

(6) 第 3 条の目的を達成するために必要な事業

事業実施体制

- ・会議に関する事項
 - 通常総会 毎年 5 月下旬開催
 - 理事会 10 回開催
 - 運営委員会 10 回開催
- ・監査に関する事項
 - 本監査 毎年 5 月中旬実施
- ・事務局体制
 - 事務局長 1 名（非常勤職員）
 - 事務局員 2 名（非常勤職員）
- 運営委員による事務局支援
 - 有償ボランティアとして 2 名（繁忙期従事）
 - その他ボランティアとして 2 名（随時）
- 学生インターン 4 名

以上